

# 主な行動報告 & 予定

**7月** 【中止行事等：青少年育成市民会議街頭啓発活動  
・各地夏祭り】

- 教育長面談（中学卒業応援誌「ひとりだち」読者増模索）
- 全協（コロナ対策補正予算・小中学校特別教室空調機費）
- 全協（コロナ対策補正予算・ひとり親家庭特別給付金）
- 大雨倒木各所（予想外事象・予想以上の迅速？対応感謝）
- 岐阜医療科学大学へ（大学&地域ウイン2関係構築模索）
- 地域夏の大掃除（距離をとりつつ、草も取り）
- 全協（児童生徒タブレットパソコン購入予算化）

**8月** 【中止行事：地域親子ふれあい活動（草刈）・各地夏祭り】

- 臨時議会（議会新人事・期数の若い人材積極性や好）
- 副議長選（岐阜医療科学大学応援体制の地域性質問）
- 広報公聴部会（活動にウイズコロナの足カセが痛い）
- 建設市民委員会（構成委員8名の内5名元議長吉or凶）
- 全協（影の柱⇒固定資産・教育委員・人権擁護委員選任）
- 第6回定例議会（決算審査よーいドン36日間議会）
- 予算決算委員会（決算説明・監査の中立姿勢に注文）

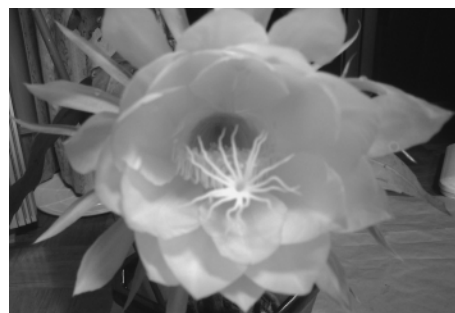
**9月** 【中止、縮小行事等：福祉大会・小学校運動会】

- 公聴部会（市民アンケート中止に反対・性別記入は不要）
- 緊急メッセージ（コロナ差別を許さない議会の姿勢表明）
- 予算決算委員会（市財政・工業団地開発・健康寿命質疑）
- 建設市民委員会（空家と岐阜医療科学大学生増加対応策）
- 本会議（それぞれの思いを述べ⇒決算審査ゴール）
- 建設市民委員会（アーラ工事現場確認この先も金が要る）
- ロードサポーター（自治会役員、老人会コラボで清掃活動）
- 広聴部会（リモート開催の課題洗い出しに知恵絞り出し）

**予定** 第7回定例議会開会11月27日

# さかいまさし通信

# まひなかな



今夏最大の贈り物「月下美人の開花」

## ご挨拶



可児市 市議会議員  
**さかい 正司**  
座右の銘 広く遠くゆっくり

コロナウイルススワクチン開発やバラ、オリンピック開催等不透明な課題があり、衆議院解散も目を離せません。少し先をみながら冷静に行動したいと思います。

天候不順が恒例化しつつあります。防災や減災策を執りましょう！コロナを考慮しながら、ご健闘をお祈りします。

猛暑と新型コロナウイルスを無事潜り抜け、健やかに過ごしのことと存じます。国の内閣総理大臣が決まり、次はアメリカ大統領選挙の行方が気になります。

## まさしの議会発言

### 決算審査

決算を審査する過程で次の様な発言をしました。

◆施設整備基金が対前年比3・6億円減少した。長期計画では2031年までに120億円必要としているが達成見込みは。

◆地方債（市の借金）残高が平成27年から増加の一途をたどり今年度も3・2億円増加し221・4億円となった。次の世代に過重な負担を掛けない歯止め策はあるか。

◆新工業団地開発の予定面積は坂祝町から撤退予定のパジェン製造（株）の敷地面積と同程度である。競合しないか県との打ち合わせをしているか。

○〇部長ノミクスが〇〇部長のミスにならない様に万全の取り組みをすること。

◆まちかど運動教室の盛況は健康寿命延伸、医療費削減に寄与し、評価できる。参加が少ない男性向け教室増など今後の予定は。

◆とうとう病院の医師が26名から22名になった。この深刻な状況に対応が必要だ。

◆空き家の活用促進と来年春に200名増加する岐阜医療科学大学の学生と結びつける方策を。

◆コロナ禍の影響を整理し、市経営計画、財政計画の見直しをすべきだ。



一部供用が開始したアールの工事状況

### ●ロハス(LOHAS)の窓●

**ノーベル平和賞**  
別稿で天然繊維は最終的な処分段階で、燃やしても地中に埋めても一切地球に負荷をかけるい優れものと書きましたが、中でも「ひつじ」は人類に対して優秀な毛だけではなく、食用、化粧品など幅広く貢献をした実績は筆舌に尽くしがたく、ノーベル平和賞を上げたい気分です。

### 知って得するマメ知識 <vol.50>

#### ひつじの毛のお話し



#### ウールと毛

衣類にウールと表示してある場合は羊毛を意味します。「毛」の表示は科学繊維と区別するため動物の毛全般、即ち羊毛も含めカシミヤやアルパカ等を指します。科学繊維の機能向上には目覚ましいものがあります。その目標は天然素材の持つ特質です。しかし廃棄時に燃やしても土に返しても地球に一切負荷を掛けない、天然素材の特徴を越えるのは不可能でしょう。

### 差別

コロナ差別を許さない可児市議会緊急メッセージを発しました。（議会ホームページ参照）日本人は差別意識が強いと海外の友人に言われ、自覚していなかったのが驚いた経験があります。確かに子供の結婚相手家柄の「聞き合わせ」なども残っているようです。必然の多文化共生社会を築く足かせにならない様に、コロナ禍を糧に、日本人の負の性（さが）に向き合しましょう。